HP IT Executive Scorecard

ソフトウェアバージョン: 9.50
Windows ®オペレーティングシステム

リリースノート

ドキュメントリリース日 : 2014年 6月 (英語版)
ソフトウェアリリース日 : 2014年 6月

ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe™は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

本製品には、'zlib' 汎用圧縮ライブラリのインターフェイスが含まれています (Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.)。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

最新の更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかのご確認には、次のサイトをご利用ください。**http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals**

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの取得登録は、次のWebサイトから行うことができます。
http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html

または、HP Passport のログインページの [**New users - please register**] リンクをクリックします。

また、該当する製品のサポートサービスに登録しておくと、最新版を受け取ることができます。詳細については、HPの販売担当者にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。**http://www.hp.com/go/hpsoftwaresupport**

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは**http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp**です。

目次

リリースノート 5
バージョン9.50の新機能 6
サポートされる環境 13
インストールの要件 14
アップグレードノート 15
注意事項、制限事項、解決済みの問題 16
ドキュメントの正誤表 36
ローカリゼーションとグローバリゼーション 38
ドキュメントフィードバックの送信 39

リリースノート

このドキュメントは、Executive Scorecardの変更点の概要です。それには、ドキュメントまたはヘルプに含まれていない重要な情報が含まれています。

注: このドキュメントは、HPソフトウェア製品マニュアルのサイトで入手できます。

最新の更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかのご確認には、次のサイトをご利用ください。

http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの取得登録は、次のWebサイトから行うことができます。

http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html

または、HP Passportのログオンページの [**New users - please register**] リンクをクリックします。

また、該当する製品のサポートサービスに登録しておくと、最新版を受け取ることができます。詳細については、HPの販売担当者にお問い合わせください。

バージョン9.50の新機能

本項では、バージョン9.50の新機能について説明します。

凡例:

ペルソナ	改善されたカテゴリ	
●管理者 ●ビジネスアナリスト ●財務アナリスト ●エグゼクティブユーザー	多数のユーザーに対応できる拡張性 エンタープライズ対応 セルフサービス分析	コンテンツの改善 要件&プラットフォーム ITFM

スケジュールされたエンティティレポート

エンティティレポートでは、XSエンティティの値または状態の変更内容を表示します。選択したスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、メトリック、KPIブレークダウン、およびメトリックブレークダウンのエンティティレポートを自動的に生成し、選択したユーザーにエンティティレポートを含む電子メール通知を送信するようにスケジュールできます。詳細については、『IT Executive Scorecard管理者ガイド』の通知 - エンティティレポートを参照してください。

予測

Executive Scorecardは、[ダッシュボード] および [エクスプローラー] タブで過去および現在の期間での目標、KPI、またはメトリックのステータスおよび値に関する情報を提供します。エクスプローラーの [予測] タブは、履歴データに基づいてエンティティの将来の動作を予測することで、将来の予想を可能にします。その結果、現時点で実施できるあらゆる対策を講じて、目的の動作を改善または維持できるようになります。

詳細については、『IT Executive Scorecardビジネスアナリストユーザーガイド』の予測を参照してください。

マルチグラフコンポーネント

履歴ビュー、履歴メトリックビュー、KPI Rolodex、KPIビュー、円グラフの各コンポーネントの表示機能が向上しました。ダッシュボードのコンポーネント表示から各種表示タイプ (列、バー、円、ゲージ) を選択する機能、ブレークダウンの階層リスト、ドリルダウン機能が追加されています。この機能は、ブレークダウンビューコンポーネントにも追加されています。

詳細については、『IT Executive Scorecardビジネスアナリストユーザーガイド』の履歴ビューコンポーネント、履歴メトリックビューコンポーネント、KPI Rolodexコンポーネント、KPIビューコンポーネント、円グラフコンポーネント、ブレークダウンビューコンポーネントを参照してください。

スケジュールされたExcelファイルのインポート

- Excelファイルをコンテキストデザイナーにインポートできるようになりました。詳細については、『IT Executive Scorecard管理者ガイド』のSemantic Layer - Excel (or .CSV) File Loaderを参照してください。
- .CSVファイルとExcelファイルに含まれているデータのコンテキストデザイナーへの自動および定期的インポートをスケジュールすることができます。詳細については、『IT Executive Scorecard管理者ガイド』のSemantic Layer - Excel (or .CSV) File LoaderとSemantic Layer - Data Loader Schedulerを参照してください。

埋め込みのダッシュボードページ

ダッシュボードページのURLを生成し、そのページを別のアプリケーションに埋め込むことができます。そのページのどこかをクリックすると、アプリケーションからExecutive Scorecardのダッシュボードページにアクセスします。

XSページを通常プロセスに埋め込むことにより、組織内でのE2Eの実装やXSの採用が簡単になります。

詳細については、『IT Executive Scorecardビジネスアナリストユーザーガイド』のXSダッシュボードページの別のアプリケーションへの埋め込みと別のアプリケーションに埋め込まれているXSダッシュボードページから元のXSへの移動を参照してください。

BOE 4.0xとBODS 4.1のサポート

SAP BusinessObjects Enterprise 4.0xとSAP BusinessObjects Data Services 4.1がサポート対象になりました。

詳細については、『IT Executive Scorecard Support Matrix』を参照してください。

LDAP構成ウィザード

LDAP構成ウィザードを実行するには、[管理] > [ユーザー管理] > [LDAP管理] を選択します。LDAPの構成作業を迅速かつ効率的に行うことができます。詳細については、『IT Executive Scorecard管理者ガイド』のLDAPを参照してください。

Internet Explorer 10

Internet Explorer 10がサポート対象になりました。

詳細については、『IT Executive Scorecard Support Matrix』を参照してください。

配賦ルールの検索

配賦シナリオウィザードで、ルールの検索が可能になりました。

詳細については、特定のルールの検索を参照してください。

CSA 4.0のサポート

HP Cloud Service Automation (CSA) バージョン4.0がサポート対象になりました。

詳細については、『IT Executive Scorecard Support Matrix』を参照してください。

LogTool

LogToolでは、ログの表示、ソート、管理、分析を実行できます。詳細については、『IT Executive Scorecard管理者ガイド』のログおよびLogToolを参照してください。

CPおよびCAPの統合

このバージョンでは、次のコンテンツアクセラレーションパックが追加されています。

ITFM_CAPコンテンツアクセラレーションパック

PPM_CAP Content Acceleration Pack

SM_CAP Content Acc eleration Pack

CSA_CAP and CSA_CAP_Demo Content Acceleration Packs

詳細については、『Content Acceleration Packs Guide』を参照してください。

容量電卓

XSのデフォルト構成でもアプリケーションの実行は可能ですが、パフォーマンスを最適化するにはXSがインストールされているサーバーのサイジングが必要になることがあります。構成ごとの違いを考慮するため、容量電卓を使用してサイジングが必要かどうかを確認してください。XSを実行するサーバーのサイジングを適切に行うことは、デプロイメントの基礎となります。最適なサイジングを行う方法として、容量電卓の使用を強くお勧めします。

容量電卓とは、XSが稼働する環境のシステム動作を予測し、容量を計画する手段として、XSに付属するツールです。ユーザー、データソース、ダッシュボードのページ、レポートなどの数を入力してください。XSの各コンポーネントで必要なディスクサイズ、メモリサイズ、CPUコアの数が表示されます。こ

パフォーマンスベンチマーク

パフォーマンスベンチマークのドキュメントでは、Executive Scorecardバージョン9.50のパフォーマンスを示すベンチマークについて説明します。ベンチマークでは、ベンチマークワークロードを示す具体的な機能ワークロードをデータ環境に適用しますが、このドキュメントではデータ環境に関するコンテキストデータを説明します。また、HP Performance Labで実行したベンチマーク結果を参照用に掲載しています。

詳細については、『Performance Benchmark Document』を参照してください。

ドキュメントの拡張

新しいムービーがアプリケーション(『IT Executive Scorecardリリースノート』のムービーへのアクセス)またはYouTubeで提供されています。

- 埋め込み可能
- Excelファイルインポートのスケジューリング
- LDAP
- 予測
- ダッシュボードページコンポーネント
- エンティティレポート(電子メール通知)
- ドキュメントについて

れにより、チューニングが必 要 かどうかを確 認 できます。		

サポートされる環境

Executive Scorecardでサポートされる環境については、HPソフトウェア製品マニュアルサイト(**http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals**)またはインストールDVDにある9.50 Support Matrixを参照してください。

インストールの要件

最小ハードウェア要件および最小ソフトウェア要件の詳細については、HPソフトウェア製品マニュアルサイト (**http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals**)のSupport Matrixを参照してください。

アップグレードノート

アップグレードのプロセスの詳細は、HPソフトウェア製品マニュアルサイト(**http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals**)にある『IT Executive Scorecard Upgrade Guide』(PDFフォーマット)に記載されています。

注意事項、制限事項、解決済みの問題

問題、制限事項、解決済みの問題は、変更リクエスト番号 (QCCR<CR番号>) で識別されます。HPソフトウェアサポートWebサイトで問題について詳細を探す場合、またはHPサポートの代表に連絡する場合は、この番号を使用します。

注: 下の表で、解決済みの問題の番号にはアスタリスクが3個 (***) 付き、背景が青で、**解決バージョン**列に解決されたバージョンが表示されます。

インストールに関連する問題は次のとおりです。

問題	QCCR1A番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
DWHのインストール		DWHインストール前の更新 必要なdllおよびランタイムコンポーネントを更新するには、XSのインストール前に次のコンポーネントをインストールしてください (マシンにインストールされているかどうかは、**C:\users**の下を確認します)。 **Microsoft Visual C++ 2008 SP1再頒布可能パッケージ - x86 (amd64/x64は不可)** **http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?displaylang=en&id=5582**		9.41 (廃止)

問題	QCCR1A番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
アップグレード	12501 *** (旧CR番号: 142512)	**アップロード - 何らかの理由でデータベースがロック状態になると、コアCPのアップグレードプロセスでエラーが発生するがアップグレードプロセスは停止しないため、アップグレードが完了してもシステムは正常に稼働しない** **回避策:**次のディレクトリにあるアップグレードログを手動でチェックします。 • C:\HPXS\agora\confwizard\log\ConfigWizard.log • C:\HPXS\agora\confwizard\log\Server.log • C:\HPXS\agora\DataWareHouse\log*.log 上記のログに記録されているエラーやメッセージが原因で、アップグレードプロセスやその後のETL実行で問題が発生することがあります。ログにエラー(ERROR)、メッセージ(MSG)、障害が記録されていないことの確認をお勧めします。ログにこのような内容が記録されている場合は、問題の調査と修正を行い、必要に応じてアップグレードプロセスを再実行してください。	9.30	9.41
一般的なインストール		**Windows 2008 Serverのドメインユーザーで、スタートメニューのXS管理ショートカットを使用する** サーバーを管理するのにドメインアカウントを使用する場合、**構成ウィザード**、**ライセンスのリニューアル**、および**Executive Scorecardの有効化/無効化**、**HP Executive Scorecardのアンインストール**のショートカットは正しく動作しない場合があります。なぜなら、ユーザーアクセス制御の機能が有効になっていると、これらのショートカットによって起動されるバッチファイルが関連するファイルにアクセスできないからです。 **回避策:** 次のいずれかを実行します。 • ユーザーアクセス制御の機能を無効にする。 • それぞれのショートカットを起動する際に、ショートカットを右クリックして[**管理者として実行**]オプションを選択する。	9.00	-

問題	QCCR1A番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
一般的なインストール	12704 *** (旧CR番号: 143964)	**Glassfish管理が認証されていないユーザーからアクセスできる。** **回避策:** WindowsファイアウォールでXSのアクセスを許可し、管理ポート1001をブロックします。 1. **[コントロールパネル]** > **[システムとセキュリティ]** > **[Windowsファイアウォール]** を選択します。 2. 左上の **[Windowsファイアウォールの有効化または無効化]** をクリックし、**[Windowsファイアウォールの状態]** を **[有効]** にします。 3. **[ドメイン]**、**[プライベート]**、**[パブリック]** ネットワークのうち1つ以上を選択します。 4. 定義済みの受信の規則をすべて削除します。 a. 左上の **[詳細設定]** をクリックします。 b. すべての規則を選択して **[削除]** をクリックします。 5. すべてのポートを許可する新しい規則を定義します。 a. **[新しい規則]** をクリックします。新規の受信の規則ウィザードが開きます。 b. 規則の種類を **[ポート]** に設定し、**[次へ]** をクリックします。 c. プロトコルとポートを設定して、**[次へ]** をクリックします。 d. 規則を **[TCP]** と **[すべてのローカルポート]** に適用するように選択します。 e. **[操作]** を **[接続を許可する]** に設定し、**[次へ]** をクリックします。 f. プロファイルを適切に設定し (既定では、**[ドメイン]**、**[プライベート]**、**[パブリック]** ネットワークが選択されています)、**[次へ]** をクリックします。 g. わかりやすい名前 (「XS」など) を入力し、**[完了]** をクリックします。		9.41

問題	QCCR1A番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
		6. ポート1001をブロックする新しい規則を定義します。 a. [**新しい規則**] をクリックします。新規の受信の規則ウィザードが開きます。 b. 規則の種類を **[ポート]** に設定し、**[次へ]** をクリックします。 c. 規則を **[TCP]** に適用するように選択します。 d. ポートを**1001**に設定します。 e. **[操作]** を **[接続をブロックする]** に設定し、**[次へ]** をクリックします。 f. プロファイルを適切に設定し (既定では、**[ドメイン]**、**[プライベート]**、**[パブリック]** ネットワークが選択されています)、**[次へ]** をクリックします。 g. わかりやすい名前 (「GF管理コンソールのアクセス制限」など) を選択し、**[完了]** をクリックします。		
HP PPM	10701 *** (旧CR番号: 136456)	**システムの制限 - HP Project and Portfolio Managementプログラムエンティティのレコードが複数のマネージャーにリンクしている場合、システム制限のため、最も小さいマネージャーIDだけが保持される。ほかのマネージャーIDはETLの実行後、破棄される。** **推奨事項:** HP Project and Portfolio Managementの1つのプログラムエンティティに対して、1つのマネージャーIDを使用します。	9.03	9.41
その他のDWHの問題	15905 (旧CR番号: 166458)	**制限事項:** VARCHARであるMD_BUSINESS_KEY列の長さは最大100文字までです。それを超えると、ETLの実行後にレコードが失われる可能性があります。 **推奨事項:** MD_BUSINESS_KEY列の長さを100文字未満に変更します。		

問題	QCCR1A番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
その他のDWHの問題	7446	**制限事項:** ユーザー管理 - XSでは特殊文字を使用できないため、BOEユーザー名には特殊文字を含めないようにする必要があります。	9.41	9.50
SAPの問題	適用なし	**制限事項:** 複数の並行するサブワークフローをまとめて.atlファイル形式で保存したワークフローは、SAP BusinessObjects Data Services4.1に正常にインポートできません。 **回避策:** このようなワークフローは.xmlファイル形式でSAP BusinessObjects Data ServicesXI 3にエクスポートしてから、SAP BusinessObjects Data Services 4.1にインポートしてください。		
SAPの問題	適用なし	**制限事項:** 並列度が1を上回るデータフローは、処理に失敗する可能性があります。 **回避策:** SAP BusinessObjects Data Servicesはデータフローを実行するため、大量のリソースを要求する場合があります。データフローのプロパティで並列度を0または1に変更すると、この問題が解決する可能性があります。		
SAPの問題	適用なし	**制限事項:** SAPの機能変更。サブデータフローに**table_comparison**を含むワークフローは、処理に失敗する可能性があります。次のエラーメッセージが表示される可能性があります。**Input to transform <Table_comparison> is not ordered by the transform's primary key.** **回避策:** SAP BusinessObjects Data Services 4.1では、**table_comparison**の**comparison type**が**sorted input**に設定されている場合、このコンポーネントの処理前にデータをソートしています。		

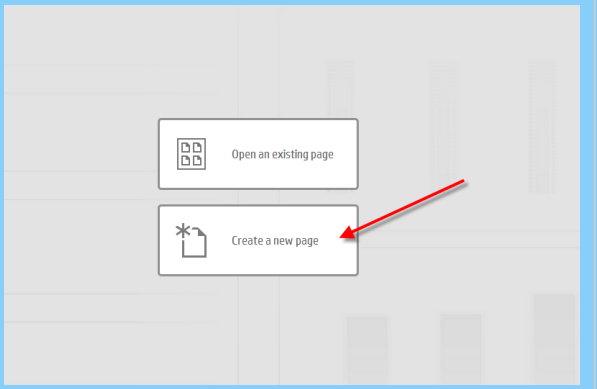
問題	QCCR1A番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
ETLの問題	19807	**別のサーバーからネットワークドライブをマッピングすると、ETLがジョブソースの抽出ステップで処理に失敗します。** 別のサーバーからネットワークドライブをマッピングする場合、たとえば、XSサーバーで、ネットワークドライブP:を作成して別のサーバーのC:ドライブにマッピングした場合に、ETLを実行してP:ドライブからフラットファイルを抽出すると、ETLがジョブソースの抽出ステップのレベルで処理に失敗します。 **回避策:** 次の2つの回避策があります。 1. XSサーバーの共有フォルダーを使用して、ソースファイルをこの共有フォルダーに配置します。このフォルダーをロックすることで、FBIが抽出を開始するまで、何も書き込めない状態になります。 2. ネットワークドライブをローカルドライブにマッピングする代わりに、**\\<IP_number>\c$\flat**のようなネットワークアドレスをDSMの構成に使用します。	9.50	
Chrome	10772 *** (旧CR番号: 136802)	**Chromeブラウザーの使用 - Chromeでダッシュボードページを操作するとメモリエラーが発生することがある** **回避策:** 1. AdobeのWebサイト (**http://get.adobe.com/flashplayer**) にアクセスし、Adobeの最新版をダウンロードします。 2. Chromeを開き、プラグインセクション (アドレスバーに**chrome://plugins**と入力) にアクセスします。 3. ChromeのFlash Player (末尾が**\gcswf32.dll**。たとえば、**C:\Users\<user>\AppData\Local\Google\Chrome\Application\17.0.963.79\gcswf32.dll**など) を無効にします。 4. 新しいFlash Playerを有効にします。	9.30	9.41

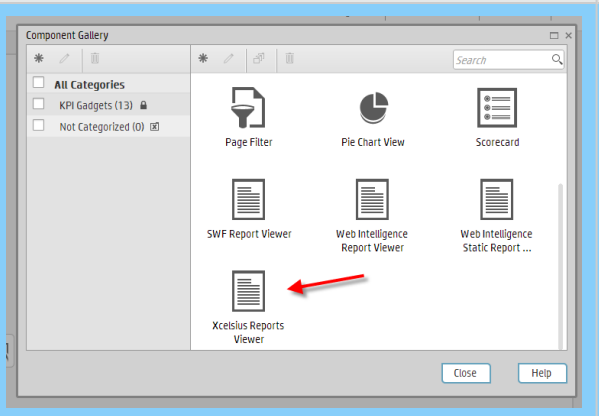
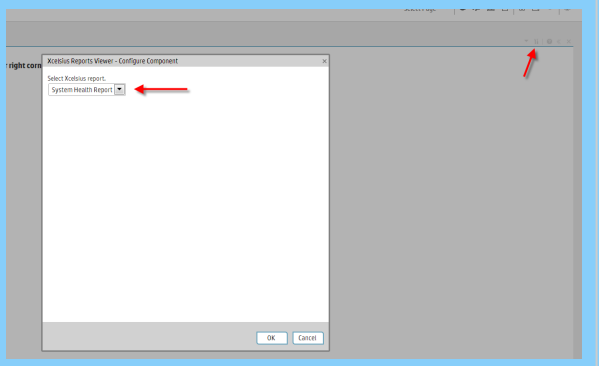
問題	QCCR1A 番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
Chrome	16691	**制限事項:** エクスプローラーからの電子メールの送信 • エクスプローラーで [**注釈を追加して電子メールで送信**] をクリックして電子メールを送信すると、一時ウィンドウが約1秒間ポップアップします。 • エクスプローラーで [**電子メールの送信**] をクリックするか、開いた電子メールをキャンセルした場合、[エクスプローラー] ウィンドウには戻りません。エクスプローラーに戻るには、対応するウィンドウをクリックしてエクスプローラーを表示します。	9.41	
Chrome	17074	**制限事項:** Chromeのエクスプローラーでは、サードパーティ製品 (のChromeブラウザー) の最新の更新に問題があるため、テーブル ([概要] タブのテーブル形式の場合)、[追加情報] 領域、または円グラフの各スクロールバーをドラッグできません。 **回避策:** 下に移動するにはスクロールバーの下をクリックし、上に移動するにはスクロールバーの上をクリックします。	9.41	
Chrome	19606	**制限事項:** Chromeの場合、スタジオでは、(Smart) GWTの制約により、アクティブなKPIツリーでブレークダウンKPIまたはメトリックを作成するときに、[ブレークダウン] メニューから [ブレークダウンディメンション] メニューにフォーカスを変更すると、スクロールバーがブレークダウンのリストの先頭に自動的にスクロールするので、オプションが選択しにくくなっています。 **回避策:** キーボードを使って項目を選択してください。	9.50	
Firefox	16358 (旧CR番号: 168682)	**制限事項:** Firefoxのエクスプローラーから ([**スナップショットの保存**] ボタンを使用して) スナップショットを作成すると、スナップショットの下部が切り取られます。	9.41	
Firefox	16331	**制限事項:** Firefoxブラウザーの使用時に、アプリケーションの一番上のツールバーの [**ユーザー**] をクリックしてユーザーイメージを追加する場合、ダイアログボックスが完全に表示されないため、ユーザー画像をアップロードできません。	9.41	

問題	QCCR1A番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
Firefox	16360	**制限事項:** Chrome (またはInternet Explorer) 経由でユーザーイメージをアップロードすると、KPI注釈では表示されますが、Firefoxでは表示されません。	9.41	
Firefox	16433	**FirefoxでXSにログオンすると、[XSアプリケーションが正常に起動しました] 画面が表示されるが、この画面が自動的に消えない。** Firefox 17以降のバージョンでXSにログオンすると、数秒後に [XSアプリケーションが正常に起動しました] 画面が表示されますが、その画面が消えず、再度ダッシュボードページに切り替える必要があります。この問題は、ブラウザーのFlash Playerプラグインによって発生します。 **回避策:** クライアントマシンで、"**C:\Windows\SysWOW64\Macromed\Flash\mms.cfg**" に**ProtectedMode=0**という行を追加します。 Flashを無効にしたり、古いバージョンをインストールしたりする必要はありません。 詳細については、http://kb.mozillazine.org/Flash#Disabling_Protected_Mode_in_Flash_11.3を参照してください。	9.41	9.50
XSアプリケーション	13552 *** (旧CR番号: 150804)	**KPIに割り当てられているコンテキストの名前を変更すると、KPI構成でコンテキストの新しい名前が反映されないため、KPIが無効になる** コンテキストデザイナーでコンテキストの名前を変更した場合、KPIがコンテキストに基づいていると、KPI構成でコンテキストの新しい名前が反映されないため、KPIが無効になります。 **回避策:** 1. CAPをそのままアップロードします。 2. スタジオを開き、コンテキストを使用するKPIを選択します。 3. 名前を変更したコンテキストにKPIを手動で割り当てます。 4. 再計算を実行します。	9.40	9.41

問題	QCCR1A番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
XSアプリケーション		**スタジオを開いても、KPIライブラリにKPIがない** スタジオを開いてもKPIライブラリが空である場合、次の操作を実行する必要があります。 1. **<installation dir>\agora\glassfish\glassfish\domains\BTOA\config\kpitemplates\import\languages\en_US**ディレクトリの内容を**<installation dir>\agora\glassfish\glassfish\domains\BTOA\config\kpitemplates\import\load**ディレクトリにコピーします。 2. **KPIテンプレートのロード**手順を実行します。 3. (ブラウザーから) アプリケーションでスタジオビューを更新します。		-
XSアプリケーション	11948 (旧CR番号: 140689)	**計算がエラーで終了する** **回避策:** KPIの計算でエラーが発生する場合は、[**エンジンヘルスタイマー**] ([**管理**] > [**スコアカード**] > [**エンジンの設定**]) でKPIエンジンタイマーの設定値を大きくします。 [**エンジンヘルスタイマー**] の設定値を変更しても問題が解消されない場合は、データベースサーバーI/O構成の拡張をお勧めします。	9.30	9.41
XSアプリケーション	16401	**ユーザー管理 - 役割を更新し、その操作が正常に行われたことを確認してログアウトし、更新した役割が割り当てられているユーザーでXSにアクセスすると、更新した役割をアプリケーションが「記憶」していない。** **回避策:** 1. ブラウザーを閉じます。 2. デフォルトの10分間のキャッシュ更新を待ちます。 3. もう一度ブラウザーを開いて、再度ログオンします。	9.41	
XSアプリケーション	16871	**制限事項:** スタジオでは、KPIライブラリを折りたたんでも、いずれかのKPIの名前が155文字 (Chrome) または170文字 (IE9) を超える場合、目標の [構成の詳細] タブの [割り当て済みKPI] テーブルで、スクロールバーと [削除] アイコンにアクセスできなくなります。	9.41	

問題	QCCR1A番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
XSアプリケーション	16897	ダッシュボードページコンポーネントの一部のWebiレポートの背景色が正しくない 一部のWebiレポートの背景色が、SAP BusinessObjects Enterpriseでは白、XSダッシュボードコンポーネントでは黒になります。この原因は、そのコンポーネントがXSダッシュボードの最後のインスタンスを表示しているためです。最新バージョンのレポートを表示するには、ダッシュボードページを更新してください。	9.41	
XSアプリケーション	15188	**注：ダッシュボードスコアカードコンポーネントで、スコアカードに期間の異なる目標が存在する場合、スコアカードフィルターには、[期間] リストのスコアカード目標間で期間が最も長いものしか表示されません。次に例を示します。スコアカードに月次のObjective-1と週次のObjective-2がある場合、構成ウィンドウには、月次よりも期間が短い目標は表示されません。月次よりも長い目標は、コンテキストで行う計算に応じて、表示される場合があります。**	9.41	

問題	QCCR1A番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
XSアプリケーション	17498	**[システムヘルス] ページ** - ダッシュボードで [システムヘルス] ページを表示するには、次の手順を実行してページを作成する必要があります。 1. 新しいダッシュボードページを作成します。  2. 新しいXcelsiusレポートビューアーコンポーネントを追加します。 	9.41	9.50

問題	QCCR1A番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
		  3. ページを「システムヘルスレポート」として保存します。 詳細については、『IT Executive Scorecard Reports Reference Guide』のSystem Health Report and System Health Pageを参照してください。		

問題	QCCR1A番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
レポート	20503	**エラーメッセージ:** Internet Explorer は、クロスサイトスクリプトを防止するために、このページを変更しました。 レポートを開いて更新する回数が多い場合、IEにこの警告が表示されることがあります。 **回避策:** 1. IEで、[**ツール**] > [**インターネットオプション**] をクリックします。 2. [**セキュリティ**] タブをクリックし、[**インターネット**] ゾーンを選択して、[**レベルのカスタマイズ**] ボタンをクリックします。 3. [**スクリプト**] セクションの [**XSS フィルターを有効にする**] オプションまでスクロールします。 4. [**無効にする**] を選択して [**OK**] をクリックします。 5. [**セキュリティ**] タブの [**信頼済みサイト**] を選択して、[**レベルのカスタマイズ**] ボタンをクリックします。 6. 手順3と手順4を繰り返します。	9.50	
ITFMモジュール		**Financial Planning Analysis - KPIエンジンによるFinancial Managementコンテキストの計算中のコスト配賦** KPIエンジンによるFinancialManagementコンテキストの計算中、ダッシュボードに影響を与える配賦シナリオ([**ダッシュボードに表示**] オプション) を変更すると、予期しない結果が発生する可能性があります。 **回避策:** KPIの計算が完了してから、ダッシュボードに影響するシナリオの変更を行うことをお勧めします。	-	-

問題	QCCR1A 番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
ITFM モジュール	15508 *** (旧CR番号: 162555)	**動的ITFM - エンティティの列名を変更しても、データベース外部テーブルの対応する列が変更されない** セマンティックレイヤー (コンテキストデザイナー) のエンティティ列の名前を変更しても、データベースの対応する列の名前が変更されません。たとえば、動的割り当てシナリオで列名を変更したい場合に、この新しいディメンションに基づいて割り当てシナリオを作成すると、名前が古い名前に対応したままのため、新しいディメンション名がコストエクスプローラーに表示されません。 **回避策:** 新しいディメンションのソースとして使用する.CSVファイルに列の**名前**を含めないでください。これは、**<ディメンション名>_名前**列 (どの.CSVファイルにもあります) を**名前**に複製することにより行えます。	9.40	9.41
ITFM モジュール	15883 *** (旧CR番号: 166334)	**メモリ消費量とUIメモリ不足の例外** 配賦ステージのルールにある条件リストにディメンションをドラッグする操作では、ディメンションに含まれるレコード数が多いと、処理に時間がかかり、メモリ不足例外が発生することがあります。 **回避策** 1. **<HPXS>\agora\glassfish\glassfish\domains\BTOA\config\settings** に移動します。 2. **fpa-settings.xml**を開きます。 3. **fpa.dim.max.row**の値を設定します。このパラメーターは、ディメンションのレコード数の上限を指定します。	9.41	9.41
ITFM モジュール	16033 (旧CR番号: 167088)	**制限事項:**[配賦] タブで [**ETL完了後にETL出力を使用した配賦を自動的にトリガーする**] オプションを選択し、ETLにコストテーブルの既存データを変更する新しいデータがある場合、[**財務**] > [**配賦**] の配賦ステージの途中で表示される値 [**配賦済み**] と[**未配賦**] が正しくない場合があります。ただし、最終値 (配賦の最後) は正しく、配賦されるコストテーブルの値も正しい値です。	9.41	

問題	QCCR1A 番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
[ダッシュボード] タブ	15936	**制限事項:** ダッシュボードフィルター - ダッシュボードフィルターの文字列にカンマが含まれている場合、そのフィルターではカンマまでの文字列だけが使用され、文字列全体は使用されません。この文字列は、ディメンション値に対応しています。 **回避策:** データのディメンション値に、文字列が含まれていないことを確認します。	9.50	
[管理] タブ	15501 *** (旧CR番号: 162512)	**日次KPI/メトリック - [管理] > [スコアカード] > [エンジンの設定] の [日次KPIの再計算を行う最大日数] 設定で、日次KPIの既定の計算期間を変更すると、前の既定 (30日) と新しい既定の間の期間で「データがありません」という結果が発生することがある** **回避策:** 過去30日間より前のすべての日で計算結果が「**データがありません**」となった場合、同じ期間で再度計算してください。 これは、[スタジオ] タブをクリックし、関連するKPIを選択して [**計算オプション**] ボタンをクリックしてから、[アクティブなKPI] ペインで Recalculate [**再計算**] オプションを選択します。次に、日時KPIの新しい既定の計算期間に対応する日付を指定します。	9.40	9.41

問題	QCCR1A番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン

ユーザー管理	17406	**LDAPは有効だが、LDAPユーザーがユーザー管理に表示されない**
		
		LDAPを有効にした後、[**管理**] > [**ユーザーおよび役割**] > [**ユーザー管理**] を選択しても、LDAPユーザーが表示されない場合、次の手順を実行します。
		
		1. **<インストールディレクトリ>\agora\glassfish\glassfish\domains\BTOA\config\conf\bsf.properties**ファイルを探します。
		■ bsf.propertiesファイルの次の部分を変更します。
		`personalization.provider=EXTERNAL`
		`users.provider=EXTERNAL`
		`groups.provider=EXTERNAL`
		次のように変更します。
		`personalization.provider=SHARED`
		`users.provider=SHARED`
		`groups.provider=SHARED`
		2. HP Executive Scorecardを無効にします。
		3. HP Executive Scorecardを有効にします
			9.41	9.50

ファウンデーション	16278 *** (旧CR番号: 168453)	**複数のNICがアクティブになっていると、BOEインストールが失敗する** BOEの構成手順のXS構成の途中で、複数のネットワークカード (NIC) がアクティブになっていると、BOEインストーラーは失敗します。 **回避策:** インストール中は管理ネットワークNICを除くすべてのNICを一時的に無効にします。	9.41	9.41

問題	QCCR1A番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
I18n	122359 ***	**SERVICESTATUS_FACTのローカライズされた日付がUTCから変換されない** **回避策: SERVICESTATUS_CON_ALT_WFを編集して、_LOC datesに対するすべてのマッピングをUTC_DATE_TO_DW(<Date>_UTC)** に変更します。 **注:** これが問題になるのは代替ソースの場合のみです。HP Business Service Managementでは正しく動作します。	9.00	-
アプリ	1680 (旧CR番号: 153298)	**制限事項:** XSアプリはAndroidバージョン3.0.xのみをサポートします。	9.31	
CAP	20528	**制限事項:** アクティブ化の途中でCAPの処理に失敗した場合、ネットワークの接続ロス、ディスクスペースの不足、サーバーのシャットダウンなど、予期しないエラーが発生します。 **回避策:** エラーが発生したCAPに関連する外部テーブルをすべて手動で削除します。 1. テーブル [CAP_CONTENT_ITEM] およびテーブル2 [CAP_CONTENT_PACK] に対する結合クエリを作成して、すべてのテーブル名のリストを表示するよう [CAP_CONTENT_PACK].[NAME]='<CAP_name>' かつ [CAP_CONTENT_ITEM].[TYPE] = 'DATA' という条件でフィルターします。 2. ターゲットデータベースの外部スキーマでリスト内の各テーブルを1つずつ手動でドロップします。	9.50	

問題	QCCR1A番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
CAP	19144	**クラウド最適化CAPを非アクティブ化するとエラーメッセージが表示される** **回避策:** 1. XSアプリケーションで、ログオフします。 2. XSアプリケーションサーバーを再起動します。 3. ログオンします。	9.50	
CAP	15264 *** (旧CR番号: 161222)	**CAPダッシュボードのコンポーネントのページに、コンポーネント構成と異なる期間が表示されることがある** コンポーネントを表示したページを含む一部のCAPでは、これらのコンポーネントの表示に使用される期間が、そのコンポーネントの構成で選択した期間と一致しない場合があります。 **回避策:** このような場合は、 をクリックしてコンポーネント構成を開き、[**OK**] をクリックして、構成期間と一致するように期間の表示を更新します。	9.40	9.41
CAP	16218 *** (旧CR番号: 168141)	**CAPのアクティブ化/非アクティブ化プロセス中にXSを再起動すると、これらのプロセスが動作を停止する** XSの再起動後、[**管理**] > [**コンテンツアクセラレーションパック**] を確認すると、いくつかのCAPのアクティブ化または非アクティブ化プロセスが実行を継続しています。 **原因:** XSの再起動後、データベースのCAP_CONTENT_PACKテーブルのSTATUSフィールドの値が、**'ACTIVATING'** または **'DEACTIVATING'** のままです。 **回避策:** 1. 問題があるCAPのSTATUSフィールドの値を手動で **'DEACTIVATED'** に更新します。 2. さらに、XSの再起動前にすでに作成されている(またはまだ削除されていない)、問題のあるCAPのエンティティをクリーンアップします。このクリーンアップは手動で実行するか、もしくは問題のあるCAPでアクティブ化/非アクティブ化操作を実行します。	9.41	9.41

問題	QCCR1A番号	説明	公開済みのバージョン	解決済みのバージョン
CAP	15887	9.41へのアップグレード前に9.40でクラウドCAPをアクティブ化した場合、[**管理**] > [**コンテンツアクセラレーションパック**] に2つのクラウドCAPが表示されます。	9.41	
Excelファイルのインポート	17471	**制限事項:** 最終行に空のセルを含むExcelファイルをインポートすると、ETLプロセスでエラーが発生します。 次のエラーが発生します。com.hp.dwh adapters.fbi.common.exception.ExtractorException:Java.lang.RuntimeException:ERROS:couldn't extract the field:"Comment(Extract Column:Comment)" from Excel file **回避策:** インポートするExcelファイルの最終行に、空のセルが含まれていないことを確認します。	9.50	

ドキュメントの正誤表

最新バージョンのドキュメントをご覧になるには、HPソフトウェア製品マニュアルサイト (**http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals**) にアクセスして、該当するPDFをダウンロードしてください。

ローカリゼーションとグローバリゼーション

ローカリゼーションとグローバリゼーションの情報は、HPソフトウェア製品マニュアルサイト(**http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals**)またはインストールDVDのSupport Matrixに記述されています。

ドキュメントフィードバックの送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールでドキュメント制作チームまでご連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

Feedback on IT Executive Scorecard 9.50

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信] をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、SW-Doc@hp.com宛にお送りください。

お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。